

平成30年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、国民健康保険法に基づいて設置される国民健康保険診療施設（国保直診）の管理者たる医師・歯科医師を会員とし、国保直診が多く立地している中山間地域・へき地・離島における保健・医療・介護・福祉の連携統合を図り、超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの充実強化と地域包括ケアシステムの構築を目的として、全国国保地域医療学会を開催するほか、種々の事業を積極的に実施しているところである。

国においては、世界一の超高齢社会を背景に持続可能な社会保障制度の確立を図ることを目的とした社会保障・税一体改革の推進のため、平成24年8月に社会保障制度改革推進法を成立させ、それに基づいて、平成25年8月に社会保障制度改革国民会議より最終報告書が提出された。そして同年12月に「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（いわゆるプログラム法）」を成立させた。

この法律に基づく措置として、平成26年6月25日に19本の個別法からなる一括法として「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が公布された。その概要は1.新たな基金の創設と医療・介護の連携強化、2.地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保、3.地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化などである。今回の法律改正で地域包括ケアシステムが規定されたことは、世界一の超高齢社会の日本ではこのシステムが必要不可欠であるということを示している。

国保直診では昭和40年代後半から先進的に地域包括医療・ケアの推進に取り組み、在宅医療を含む地域医療を支えてきた。国診協が昭和59年に「地域包括医療・ケア」の理念を明文化し、全国的に展開してきたことが最も先進的であることの証である。このことは国保直診の誇りであると共に、フロントランナーとしてさらに質の高い地域包括医療・ケアの推進を率先垂範していく使命があるといえる。

第6次医療法改正（平成26年10月施行）では、病床機能報告制度と地域医療構想の策定が柱となっていたが、第7次医療法改正（平成27年9月公布）では「医療法人制度の見直し」（平成28年9月施行）と「地域医療連携推進法人制度の創設等」（平成29年4月施行）の2つが大きな柱となっている。国保直診の立場から地域の医療ニーズを踏まえた地域医療構想等の実現に向けた取り組みを進めていく。

医療保険制度改革については、必要な法律（持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律）が平成27年5月27日に成立し、順次公布されており、国保に対する公費による財政支援の拡充（平成27年度から）、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図るなどの措置が講じられることとなっている。

診療報酬改定については、平成30年4月の診療報酬及び介護報酬同時改定を受けて、会員施設の経営状況等影響調査を踏まえ、平成32年度改定に向けて国に対して要望していく。

また、国により示された新たな公立病院改革ガイドライン、医師確保対策、総合診療専門医の詳細な制度設計及び働き方改革実行計画（平成29年3月28日働き方改革実現会議決定）に基づき設置された「医師の働き方改革に関する検討会」の検討に向けての具体的提言等の実施、会員拡大等、

さまざまな課題に対応していくこととしている。

更に、医療資源が限られた地域（医療従事者の確保等が困難で医療機関が少なく自己完結型の医療を提供している地域）への対応については、地域包括医療・ケアの充実への要望とともに中山間地域等医療資源不足に悩む我々国保直診に対する支援を引き続き強く要望していくこととする。

このような情勢を踏まえ、国診協においては国保直診ヒューマンプランの基本理念のもと、急速な高齢化の進行も視野に入れた新しい時代における国保直診の役割、機能を確立し、医師・メディカルスタッフの確保等その基盤強化を図るための事業を実施することが最大の課題である。あわせて、国診協として、既存の医師派遣システム支援の補完を目的とした医師の短期派遣支援の取組み及び消費税増税等による国診協の財政基盤への影響等に留意した一層の効率的な事業運営並びに経費の見直し等についても、引き続き取り組んでいくこととする。このため、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会その他関係団体と緊密な連携を図りながら、次の事業を実施していくこととしている。

なお、平成 30 年度の事業実施状況は以下のとおりである。

1 組 織（平成 31 年 3 月 31 日現在）

(1) 会 員 787 名

(2) 役 員

会 長 1 名（定員 1 名）

副 会 長 2 名（定員 3 名以内）

常務理事 8 名（定員 8 名以内）

理 事 35 名（定員 20 名以上 40 名以内 会長、副会長、常務理事を含む）

監 事 2 名（定員 2 名以内）

2 総会等の開催状況

(1) 社員総会

① 期 日 平成 30 年 6 月 22 日（金）

② 会 場 東京都 メルパルク東京

③ 主要議題（報告事項）

理事の任期途中での辞任の報告について

平成 29 年度事業報告について

（決議事項）

平成 29 年度収支決算について

理事及び監事の選任について

（協議事項）

第 58 回全国国保地域医療学会〔徳島開催〕について

国保直診・口腔保健研修会について

第 59 回全国国保地域医療学会〔長崎・佐賀共同開催〕について

第 33 回現地研究会〔大分県開催〕について

(2) 理事会 開催回数 3 回 (臨時理事会 1 回含む)

① 理事会(事業報告・決算等)

- 1) 期 日 平成 30 年 5 月 25 日(金)
- 2) 会 場 東京都 芝パークホテル
- 3) 主要議題 (報告事項)

理事の任期途中での辞任について
役員の職務執行状況について
平成 29 年度収支予算補正について

(決議事項)

平成 29 年度事業報告について
平成 29 年度収支決算について
次期理事及び監事の選任について(提案)
定時社員総会の招集について

(協議事項)

第 58 回全国国保地域医療学会 [徳島県開催] について
国保直診・口腔保健研修会について
第 59 回全国国保地域医療学会 [長崎県・佐賀県共同開催] について
第 33 回地域医療現地研究会 [大分県] について

② 理事会(臨時)

- 1) 期 日 平成 30 年 6 月 22 日(金)
- 2) 会 場 メルパルク東京
- 3) 主要議題 会長の選任について
 - ・(全理事)会長候補者推薦会議における選挙管理人の選任
 - ・(ブロック推薦理事)理事会へ推薦する会長候補者 1 名を選出
 - ・(全理事)会長選定等

③ 理事会

- 1) 期 日 平成 31 年 2 月 22 日(金)
- 2) 会 場 メルパルク東京
- 3) 主要議題 (報告事項)

理事の任期途中での辞任について
役員の職務執行状況について
第 58 回全国国保地域医療学会 [徳島県開催] 開催報告について
第 60 回全国国保地域医療学会 [北海道] 学会長について

(決議事項)

平成 31 年度事業計画について
平成 31 年度収支予算について
会長専決事項委任について
新たな規程の制定について
既存研修会等の規程の整備について

規程の一部変更について
(協議事項)

第 59 回全国国保地域医療学会 [長崎県・佐賀県共同開催] について
第 33 回地域医療現地研究会 [大分県] について

(3) 国診協開設者委員会・都道府県国保直診開設者協議会会長合同会議

- ① 期 日 平成 30 年 10 月 5 日(金)
- ② 会 場 アスティとくしま(徳島市)
- ③ 主要議題 第 58 回全国地域医療学会国保直診開設者サミット事前打合せ会
『国民健康保険制度変革期の地域づくり～国保直診活動で日本の未来を切り
ひらこう～』

(4) 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議

- ① 期 日 平成 31 年 2 月 22 日(金)
- ② 会 場 メルパルク東京
- ③ 報 告 助成事業等の取組み報告
- ④ 講 演 「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム」
厚生労働省保険局国民健康保険課長 野村 知司 氏

(5) 正副会長打合せ会

- ① 開催回数 9 回
[全国学会、現地研究会、ケア研修会、総会、理事会、監事会等にあわせて開催]
(平成 30 年 5/10 5/18 5/25 6/22 9/13 10/4 11/8 平成 31 年 1/18 2/22)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び組織・事業運営に関する重要事項について

(6) 執行役員会

- ① 開催回数 7 回 [うちテレビ会議 3 回]
(平成 30 年 4/5、5/25、6/21、7/4、10/4、平成 31 年 1/24、2/22)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び組織・事業運営に関する重要事項について

(7) 監事会

- ① 期 日 平成 30 年 5 月 10 日(金)
- ② 主要議事 平成 29 年度事業報告及び決算

3 国診協各委員会・打合せ会等開催状況

開設者委員会 3 回(平成 30 年 6/22、10/5、平成 31 年 2/22)

総務企画委員会 2 回(平成 30 年 4/25* 9/13)

*総務企画委員会、各委員会・部会合同会議 (事業活動等意見交換)

調査研究委員会 2 回 [テレビ会議] (平成 31 年 3/19、3/26)

広報情報委員会 4 回 [4 回ともテレビ会議]

(平成 30 年 5/15 8/20 11/7 平成 31 年 2/6)

地域医療・学術委員会 1 回 (平成 30 年 10/1 [テレビ会議])

歯科保健委員会 1 回 (平成 30 年 4/16 [テレビ会議])

診療所委員会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)

施設経営委員会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)

地域ケア委員会・各部会合同会議 2 回 (平成 29 年 6/28 9/20)

摂食嚥下・NST 部会、在宅医療推進部会、看護・介護部会
リハビリテーション部会

資金運営委員会 (-)

調査研究事業倫理委員会 (倫理審査の対象事業なし)

老人保健福祉調査研究会 (-)

地域包括医療・ケア認定制度審査委員会 2 回 (書面審査)

地域包括医療・ケア認定制度運営委員会 2 回 (平成 30 年 9/12 平成 31 年 3/15)

国診協・全自病協との打合せ会 (定例) 2 回 (平成 30 年 9/12 平成 31 年 3/15)

国診協・自治医科大学との懇談会 (定例) 1 回 (平成 31 年 3/8)

総合診療専門医合同対策委員会 (全自病協、国診協)

医師臨床研修指導医講習会ディレクター会議 1 回 (平成 31 年 1/28)

地域医療を守る病院協議会

⇒地方に多くの病院を有する 5 団体により平成 29 年 9 月 28 日に設立
6 回 (平成 30 年 4/26、6/14、8/31、10/31、12/21、平成 31 年 3/8)

4 学会・研修会等の開催結果

(1) 第 58 回全国国保地域医療学会開催報告

①会期

平成 30 年 10 月 5 日 (金)、6 日 (土)

②会場

学会・地域医療交流会

アスティとくしま (徳島県立産業観光交流センター)

③参加者

[学会]

1,619 人 (一般参加者 1,210 人 (学生 92 人、スタッフ 129 人含む)、来賓及び出演者 63 人、主催者 46 人、一般市民 (市民公開講座のみ) 300 人)

[地域医療交流会]

504 人 (一般参加者 429 人、来賓 36 人、主催者 39 人)

④メインテーマ

地域包括ケアで日本の未来を切りひらこう

～海・山・川の恵みの阿波 (あわ) の国での実践～

⑤学会内容

1) 特別講演 10月5日(金) 10:50~11:50 (60分)

演題	古典のすすめ、そして阿波の国	
講師	谷 知子	フェリス女学院大学副学長・文学部教授
司会者	沖津 修	第58回全国国保地域医療学会学会長 徳島県：つるぎ町病院事業管理者

2) 会員宿題報告 10月5日(金) 12:00~12:35 (35分)

演題	地域包括ケア 木を診て森も診る ～ 浜田市国保診療所連合体の取り組み ～	
講師	阿部 顕治	島根県：浜田市国民健康保険弥栄診療所長
司会者	小野 剛	国診協副会長 秋田県：市立大森病院長

3) 地域医療講座 10月5日(金) 12:40~13:20 (40分)

演題	「地域医療を守る病院協議会(5病協)+α」～ 設立経緯とその意義～ (地域生き残りは医療と教育と一次産業の活性化)	
講師	邊見 公雄	全国自治体病院協議会名誉会長

4) 国保直診開設者サミット ～国保直診の課題について市町村長とともに語ろう～
10月5日(金) 15:40~17:40 (120分)

演題	国民健康保険制度変革期の地域づくり ～ 国保直診活動で日本の未来を切りひらこう ～	
司会者	岩田 利雄	国診協開設者委員会副委員長 千葉県：東庄町長
	小野 剛	国診協副会長 秋田県：市立大森病院長
助言者	野村 知司	厚生労働省保険局国民健康保険課長
発言者	影治 信良	徳島県国民健康保険診療施設運営協議会開設者部会長 徳島県：美波町長
	中西 嘉巳	徳島県：三好市国民健康保険市立三野病院長
	横尾 俊彦	国診協開設者委員会委員 佐賀県：多久市長
	堀川 哲男	福島県：公立藤田総合病院長
特別 発言者	原 勝則	国民健康保険中央会理事長

5) シンポジウム 10月6日(土) 9:00~10:50 (110分)

演題	地域包括ケアシステムの新しい展開 ～ 徳島での議論を全国へ～	
司会者	金丸 吉昌	国診協副会長 宮崎県：美郷町地域包括医療局総院長
	本田 壮一	第58回全国国保地域医療学会副会長 徳島県：美波町国民健康保険美波病院長
助言者	眞鍋 馨	厚生労働省老健局老人保健課長
発言者	白山 靖彦	徳島大学大学院医歯薬学研究部地域医療福祉学分野教授
	藤原 真治	徳島県：美馬市国民健康保険木屋平診療所長
	齊藤 稔哲	宮城県：気仙沼市立本吉病院長
	石本知恵子	徳島県：地域医療を守る会副会長
特別 発言者	押淵 徹	国診協会長 長崎県：国民健康保険平戸市民病院長

6) パネルディスカッション 10月6日(土) 11:10~13:10 (120分)

演題	走り出した総合診療専門医をどうするか？	
司会者	中村 伸一	福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長
基調 講演	ジョン デラート	オーストラリア：ナンダー医院総合診療医
特別 発言者	渡辺 俊介	国際医療福祉大学大学院教授
発言者	谷 憲治	徳島大学病院総合診療部教授
	大原 昌樹	国診協理事 香川県：綾川町国民健康保険陶病院長
	中桶 了太	長崎大学病院へき地病院再生支援・教育機構准教授 長崎県：国民健康保険平戸市民病院
	川尻 宏昭	岐阜県：高山市市民保健部参事（地域医療統括担当） 兼国民健康保険高根診療所長

7) 市民公開講座 10月6日(土) 15:00~16:30(90分)

演題	「介護する方へのメッセージ ～ 私と家族が健康であり続けるために～」	
講師	綾戸 智恵	ジャズシンガー
司会者	須藤 泰史	徳島県：つるぎ町立半田病院長

8) 研究発表 演題数 256題(口演発表148題、ポスター討論108題)

演題分類		演題数
1	主として地域包括医療・ケア(システム)の推進に関するもの	
1	連携に関するもの(住民・行政・施設間)	36
2	住民団体(患者側)・ボランティアに関するもの	5
3	行政に関するもの	4
4	保健事業・保健師に関するもの	16
5	在宅医療・ケアに関するもの	18
7	教育・人材育成に関するもの (医師、歯科医師、薬剤師、看護師、コメディカル、学生)	16
8	医療経済・受療行動等に関するもの(国保連合会等)	8
9	在宅看取りに関するもの	7
2	主として施設内の活動に関するもの	
1	医師に関するもの	15
2	看護に関するもの	40
3	薬剤に関するもの	9
4	臨床検査に関するもの	4
5	放射線医学に関するもの	7
6	栄養管理に関するもの	5
7	リハビリテーションに関するもの	16
8	歯科・口腔に関するもの	9
9	チーム医療に関するもの	14
10	介護に関するもの	0
11	施設の運営・管理に関するもの	7
12	感染管理に関するもの	1
13	安全管理に関するもの	2
14	終末医療・ケアに関するもの	8
3	その他、地域包括医療・ケアに関するもの	9

9) 参加型ワークショップ 10月5日(金) 11:30~13:25 (115分)

メインテーマ	「国診協だからやれる地域包括医療・ケア」ではどうする！ ～ 全国のモデルとなることを目指して ～	
ディレクター	岩崎 榮	国診協参与 NPO法人卒後臨床研修評価機構専務理事
タスク フォース	林 拓男	広島県：公立みつぎ総合病院名誉院長・顧問
	佐々木 学	長野県：国民健康保険北山診療所長
	中村 伸一	福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長
	竹内 嘉伸	富山県：南砺市地域包括医療ケア部地域包括ケア課 地域包括支援センター副主幹
	長尾 春美	徳島県：つるぎ町立半田病院看護部長

10) 教育セミナー

教育セミナー① 10月5日(金) 12:00~13:00 (60分)

演題	これからの地域医療について	
講師	武久 洋三	日本慢性期医療協会会長 徳島県：医療法人平成博愛会理事長
司会者	徳田 道昭	香川県：さぬき市病院事業管理者兼さぬき市民病院長

教育セミナー② 10月5日(金) 13:10~14:10 (60分)

演題	地域医療構想と地域包括ケアの実現に向けて	
講師	松田 晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授
司会者	安東 正晴	国診協常務理事 香川県：三豊総合病院企業団企業長兼院長

教育セミナー③ 10月5日(金) 14:20~15:20 (60分)

演題	ダニ媒介性感染症 Update	
講師	馬原 文彦	徳島県：馬原医院長
司会者	佐野 正幸	高知県：本山町立国民健康保険嶺北中央病院長

教育セミナー④ 10月5日(金) 14:25～15:20 (55分)

演題	地域を知り、地域の強みを活かして生き心地の良い町づくりへ — 日本で“最も”自殺が少ない町の調査から —	
講師	岡 檀	統計数理研究所医療健康データ科学研究センター特任助教
司会者	白川 光雄	第58回全国国保地域医療学会副会長 徳島県：国民健康保険海陽町宍喰診療所長

教育セミナー⑤ 10月6日(土) 11:00～11:50 (50分)

演題	「優しさを伝えるケア技術・ユマニチュード®」 人のもつ力を最大限に引き出すための関係性の哲学と基本技術	
講師	本田美和子	国立病院機構東京医療センター総合内科医長
司会者	阿部 吉弘	山形県：小国町立病院長

教育セミナー⑥ 10月6日(土) 11:55～12:45 (50分)

演題	細菌感染症として見た「むし歯とその続発疾患」— その病態と治療 —	
講師	松尾 敬志	徳島大学大学院医歯薬学研究部(歯学系)教授
司会者	奥山 秀樹	国診協歯科保健委員会委員長 長野県：佐久市立国民健康保険浅間総合病院医療技術部長 兼歯科口腔外科部長

教育セミナー⑦ 10月6日(土) 12:50～13:40 (50分)

演題	地域包括ケアの場におけるこれからのリハ体制のあり方	
講師	木村 浩彰	広島大学病院リハビリテーション科教授
司会者	林 拓男	広島県：公立みつぎ総合病院名誉院長・顧問

教育セミナー⑧ 10月6日(土) 12:55～13:40 (45分)

演題	「統計分析で見える地域医療について」 — <医療費、介護費、訪問看護費、医師の偏在についての分析を例に> —	
講師	石原公一郎	国民健康保険中央会常勤参与
司会者	中野 透	国民健康保険中央会常務理事

(2) 第33回地域医療現地研究会

- ① 開催期日 平成30年5月18日(金)・19日(土)
- ② 開催地 岡山県岡山市 [会場]岡山県医師会館 三木記念ホール
- ③ メインテーマ 「晴れの国岡山から明るい地域医療の未来を考える！」
～千年の歴史を持つ備前焼発祥の地で、多職種連携を深める～
- ④ 参加人員 242名
- ⑤ 内容 先進的国保直診活動状況の視察研究
研修施設 備前市国民健康保険市立備前病院
備前市国民健康保険市立日生病院
備前市国民健康保険市立吉永病院

第1日目 5月18日(金)	
9:30	受付 岡山県医師会館 三木記念ホール
10:00	開講式 岡山県医師会館 三木記念ホール
10:30	視察に向けて出発 ※3班に分かれてバス移動
12:00	昼食
12:40頃	施設視察研修 備前市国保市立備前病院 備前市国保市立吉永病院 備前市国保市立日生病院 備前市介護老人保健施設 備前さつき苑 特別史跡旧閑谷学校 備前市立備前焼ミュージアム
18:30	地域医療交流会 ホテルグランヴィア岡山

第 2 日目 5 月 19 日 (土)	
9:00	<p>全体討議 岡山県医師会館 三木記念ホール</p> <p>テーマ 晴れの国岡山から明るい地域医療の未来を考える！ ～ 千年の歴史を持つ備前焼発祥の地で、 多職種連携を深める ～</p> <p>座 長 岡山県国保診療施設運営協議会 医科部会部会長 西林 尚祐発表者 岡山県国民健康保険診療施設運営協議会 代表 名部 誠 美作市立大原病院 院長 塩路 康信 岡山県国民健康保険診療施設運営協議会 歯科部会部会長 澤田 弘一 備前市保健福祉部 医療福祉連携課 課長補佐 榮 研二</p> <p>助言者 厚生労働省保険局国民健康保険課 課長 鳥井 陽一氏 全国国民健康保険診療施設協議会 副会長 金丸 吉昌</p>
11:00	閉講式
11:15	解 散

(3) 地域包括医療・ケア研修会

- ① 期 日 平成31年1月18日(金)・19日(土)
- ② 研修会会場 富士ソフト アキバプラザ「アキバホール」(東京秋葉原)
- ③ 参加人員 104名
- ④ メインテーマ 「地域包括ケアでの生きがいと働き方について考える」
～様々な施設、様々な職種、様々な場面での実践～

時 間	【第 1 日】 — 1 月 18 日 (金) —
13:00 ～ 13:10 (0:10)	<p>○開講式 主催者挨拶 押淵 徹 (公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長) 中野 透 (公益社団法人国民健康保険中央会常務理事)</p>
13:10 ～ 14:10 (1:00)	<p>○講演〔I〕(60分) 演題:「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム」 講師:野村 知司氏 (厚生労働省保険局国民健康保険課長) 司会:小野 剛 (国診協副会長/秋田県・市立大森病院長)</p>
14:10-14:15	*休憩 (5分)

14 : 15 ～ 14 : 50 (0:35)	○講演〔Ⅱ〕(35分) 国診協・会長講演 演題：「国診協と国保直診の現状と課題～地域包括医療・ケアの推進を目指し～」 講師：押淵 徹(国診協会会長／長崎県・国民健康保険平戸市民病院長)
14 : 50-14 : 55	*休憩(5分)
4 : 55 ～ 16 : 55 (2:00)	○シンポジウム〔Ⅰ〕(120分) 演題：「地域包括ケアでの生きがいと働き方について考える」 基調講演：「医師・看護師等の働き方改革」(40分) 講師：乗越 徹哉氏(厚生労働省医政局医師・看護師等働き方改革推進官) 報告者①：女性医師の活躍(15分) 遠藤 日登美(香川県・三豊総合病院内科医長) 報告者②：看護師の活躍(15分) 古代 照美(岐阜県・県北西部地域医療センター看護部統括兼県北西部地域医療センター国保白鳥病院看護部総看護師長) 報告者③：病院事業管理者の考え(15分) 徳田 道昭(香川県・さぬき市病院事業管理者 兼さぬき市民病院長) 助言：乗越 徹哉氏(厚生労働省医政局医師・看護師等働き方改革推進官)(10分) 小野 剛(国診協副会長／秋田県・市立大森病院長)(10分) 協議：(15分) 司会：安東 正晴(国診協地域医療・学術委員会委員長／香川県：三豊総合病院企業団企業長兼院長)
16 : 55-17 : 05	*休憩(10分)
17 : 05 ～ 18 : 05 (1:00)	○講演〔Ⅲ〕(60分) 演題：「在宅看取りと平穏死」 講師：長尾 和宏(医療法人社団裕和会長尾クリニック院長／一般財団法人日本尊厳死協会副理事長) 司会：海保 隆(国診協地域医療・学術委員会副委員長／千葉県：国保直営総合病院君津中央病院長)
18 : 05-18 : 15	*休憩・会場移動(10分)
18 : 15～20 : 00 (1:45)	○地域医療交流会 「本音で語ろう！私の働きがい、やりがい」

時 間	【第2日】 — 1月19日(土) —
8:30-8:50	○モーニングセミナー(20分) 第57回全国国保地域医療学会優秀研究から学ぶ～最優秀研究～ 演題:「看取りの場所における成長感の調査」 水上 幸子(滋賀県・地域包括ケアセンターいぶき看護師)
8:50-8:55	*休憩(5分)
08:55 ～ 10:55 (2:00)	○シンポジウムⅡ(120分) 演題:「災害と地域包括医療・ケア」 レクチャーⅠ:「在宅ケアに関わる事業所の事業継続計画(BCP)と災害時ケアマネジメント」(25分) 講師①:深沢 康久氏(静岡県・社会福祉法人春風会沼津市立高尾園施設長) レクチャーⅡ:「多様な主体の連携に基づく災害支援活動の展開～市民による被災者支援の可能性と課題」(25分) 講師②:菅 磨志保氏(関西大学社会安全学部社会安全研究科准教授) ※休憩(9:45～9:50) 報告者①:「防災から取り組む地域包括ケア」(20分) 古屋 聡氏(公益財団法人山梨厚生会訪問診療統括部長/山梨市立牧丘病院医師) 報告者②:「災害時支援の取り組み事例—国診協モデル事業を実施して—」(15分) 安田 幸二氏(岐阜県・郡上市地域包括支援センター主任介護支援専門員) 報告者③:「災害時と地域包括ケアにおける小規模多機能病院の役割」(15分) 齊藤 稔哲(宮城県・気仙沼市立本吉病院長) 協議:(15分) 司会:三枝 智宏(国診協災害時における要援護者への継続支援体制検討委員会委員長/静岡県・浜松市国民健康保険佐久間病院長)
10:55-11:00	*休憩(5分)
11:00 ～ 12:00 (1:00)	○講演[Ⅳ](60分) 演題:「働き方改革の動向と医療機関」 講師:安里 賀奈子氏(厚生労働省労働基準局労働条件政策課医療労働企画官/医政局医療経営支援課医療勤務環境改善推進室長) 司会:小野 剛(国診協副会長/秋田県・市立大森病院長)
12:00-13:00	*休憩/昼食(60分) ○ランチョンセミナー(12:10～12:55)(45分) 「医科・歯科連携による地域包括ケアシステム」 発表者①:「医科側から」 武田 以知郎(奈良県・明日香村国民健康保険診療所長) 発表者②:「歯科側から」 奥山 秀樹(国診協歯科保健委員長/長野県・佐久市立国保浅間総合病院医療技術部長兼歯科口腔外科部長)

13:00 ～ 14:15 (1:15)	○パネルディスカッション〔Ⅰ〕(75分) 演題：「診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇」 発表者①：宇佐美 哲郎（大阪府・能勢町国民健康保険診療所長）(20分) 発表者②：才津 旭弘（熊本県・八代市立椎原診療所長）(20分) 発表者③：小島 宏司（滋賀県・竜王町国民健康保険歯科診療所長）(20分) コーディネーター：中村 伸一（国診協診療所委員会委員長／福井県・おおい町国民健康保険名田庄診療所長）
14:15-14:20	*休憩（5分）
14:20 ～ 15:35 (1:15)	○パネルディスカッション〔Ⅱ〕(60分) 演題：「多職種・多機関連携で生み出す地域包括ケアのマンパワー」 発言者①：愛知県・東栄町での取組み（20分） 丹羽 治男（愛知県・東栄町国民健康保険東栄病院長） 発言者②：島根県・飯南町での取組み（20分） 三上 隆浩（島根県・飯南町立飯南病院副院長・歯科医師） 発言者③：大分県・姫島村での取組み（20分） 松原 裕美（大分県・姫島村国民健康保険診療所看護師） コーディネーター：沖田 光昭（国診協地域医療・学術委員会副委員長／広島県：尾道市立総合医療センター公立みつぎ総合病院長）
15:35 ～	○閉講式 閉会挨拶 押淵 徹（国診協会長／長崎県・国民健康保険平戸市民病院長）

(4) 国保直診口腔保健研修会

- 期 日：平成30年10月4日（木） 17:30～
- 会 場：JRホテルクレメント徳島
- 参加人数：55名
- 研修会会場 3階「金扇」 17:30～19:40
- 情報交換会会場 3階「金扇」 19:50～21:30

◎メインテーマ 『口腔機能の発達と健康増進について考える』

17:00～	○受付 ※17:00 開場
17:30～ 17:35	○開会 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会 会長 押淵 徹
17:35 ～ 19:35	○講演1（50分：17:35～18:25）／質疑5分程度 「口腔機能はどう発達するのか」 講師：綾野 理加氏 昭和大学歯学部小児成育歯科学講座 兼任講師 ○講演2（50分：18:35～19:25）／質疑5分程度 「地域で取り組む健康増進～生涯にわたる口腔機能維持のために～」

	講師：中澤 桂一郎 氏 利根保健生活協同組合理事／利根歯科診療所長 司会 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会委員 熊谷 優志 (岩手県・大船渡市国保歯科診療所長)
19:35～ 19:40	○閉会 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会副委員長 占部 秀徳

19:50 ～ 21:30	○情報交換会 開会挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会委員長 奥山 秀樹 乾杯 (挨拶) 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会委員 長谷 剛志 閉会挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健委員会副委員長 澤田 弘一
---------------------	--

(5) 海外保健・医療・介護・福祉視察研修(隔年実施)

「イギリスの保健・医療・介護・福祉視察研修」[7日間] 参加人数:13名

	月 日	曜	発 着 地	時 刻	交通機関	摘 要
前 日	2018年 7月7日	土	東京〔羽田〕集合	18:00	各 自	羽田空港ロイヤルパークホテルにて視察打合せ〔結団式〕夕食 【羽田泊】
1	7月8日	日	東京〔羽田〕発 ロンドン着 <ヒースロー空港↓ カンタベリー着	08:50 13:10	B A - 8	羽田空港より英国航空直行便にてイギリスのロンドンへ。 到着後、カンタベリーへ移動。 【カンタベリー泊】
2	7月9日	月	カンタベリー発 ロンドン着			(地域視察) ■エイジ UK カンタベリー(11:00～) ※高齢者福祉団体。高齢者の主要団体をまとめ、高齢者のNPOの唯一の存在。 研修後、専用車にてロンドンへ。 【ロンドン泊】
3	7月10日	火	ロンドン			■カムデン・アンド・イズリントン・NHS ファウンデーション (09:30～12:30) ※地域社会、家庭、病院の患者に高品質で安全で革新的なケアを提供。 ■エイジ UK ロンドン (14:00～16:00) ※高齢者の生活の質を向上させるサービスと、英国全体で様々なサービスを提供。 【ロンドン泊】
4	7月11日	水	ロンドン			■ノース・ロンドン・ホスピス (10:00～) ※1984年に設立されたホスピスケアを提供する慈善団体。ノース・ロンドンの病院から退院する患者に対するアフターケアの不足に対応。 ■ロイヤル・トリニティ・ホスピス (14:30～16:30)

				※末期認知症患者向け慈善団体施設。ロンドンの7つの区域に拠点を置いている。 【ロンドン泊】		
5	7月12日	木	ロンドン	■ディメンシア U.K. (10:00～) ※認知症を抱える家族を支える専門の訪問看護師アドミラルナースを養成する民間団体。 ■ロンドン・ノース・ウエスト・ユニヴァーシティ・ヘルスケア・ノースウィックパーク病院 14:00～) ※2014年10月1日に設立。地域住民に病院や地域社会のサービスを提供する、最大規模のヘルスケア・トラストの1つ。 【ロンドン泊】		
6	7月13日	金	ロンドン発 <ヒースロー空港>	朝 11:40	専用バス B A - 7	空港へ移動。 一路、帰国の途に。 【機中泊】
7	7月14日	土	東京〔羽田〕着	07:15		帰国手続き終了後、解散。

(6) リハビリ専門職の人材育成に係る研修会（国診協 地域ケア委員会リハビリテーション部会主催）

本研修会は、国保直診のリハビリ専門職を対象に、国診協の理念である地域包括医療・ケアの実践にかかる積極的取組地域を訪ね、その経緯等を体得し保健、医療、介護、福祉等包括的な取り組みの実際を学ぶことを目的に開催したものである（平成28年度から試行的に行い、平成30年度より国診協の年度行事として開始）。

平成30年度は、テーマに「地域包括医療・ケアシステム構築と地域包括ケア病棟（床）におけるリハビリ専門職の役割」を掲げ、①高齢化率の高い地域における国保診療施設等リハビリ専門職の活動と課題共有の現状、②地域包括医療・ケア構築におけるリハビリ専門職の関わり（地域ケア会議・リハビリ栄養等）、③地域包括ケア病棟（床）のリハビリ専門職の活動と病床有効稼働等に関する研修を行った。また、地域包括医療・ケアにおけるリハビリ専門職の係りの一環として、羽咋市地域ケア会議の視察等を行った。

◇日時：平成31年2月15日（金）・16日（土） 2日間

◇開催地：石川県羽咋市（会場：・公立羽咋病院／・羽咋市役所）

◇研修テーマ

「地域包括医療・ケアシステム構築と地域包括ケア病棟（床）におけるリハビリ専門職の役割」

◇参加者数：52人

[1日目] 平成31年2月15日（金）

13:00	受付開始・集合（石川県・羽咋市役所 4階 401会議室）
13:20	開講式 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会 担当副会長 公立羽咋病院 病院事業管理者兼病院長 松下 栄紀
13:30 ～ 14:10	○講義 地域包括医療・ケアを目指した公立羽咋病院でのチーム医療の取り組み 講師：松下 栄紀（公立羽咋病院 病院事業管理者兼病院長）
	休憩

14:20 ～ 16:00	○羽咋市自立支援型地域ケア会議（見学） 15:00～15:30 自立支援型地域ケア会議の見学（1事例 約30分程度） *羽咋市の総合事業該当者及び要支援者（通所介護・訪問介護利用者）を対象に自立支援とケアマネジメント支援を展開 *質疑応答：羽咋市地域包括支援センター担当者 等
	休憩（会場準備）
16:20 ～ 16:35 ～ 17:45	○第57回全国国保地域医療学会「専門分科会」で発表した「石川県能登地区の国保直診のリハビリ専門職の意識調査」について報告 ○活動報告1 「石川県能登地区における地域包括ケア病棟・床を有する国保直診施設の地域包括医療・ケアの構築に向けたリハビリ専門職の取り組み」（各20分） ～高齢化率40%未満の地域～ 講師：叶田 祥子（理学療法士／公立能登総合病院） ：坂井 健大（作業療法士／町立宝達志水病院） ：北谷 正浩（理学療法士／公立羽咋病院） *質疑応答 10分 進行：北谷正浩（国診協地域ケア委員会・リハビリテーション部会副部長／公立羽咋病院リハビリテーション科士長）
	移動・休憩
18:30 ～ 20:30	○情報交換会（交流会） ※参加費：1人あたり 5,000円 会場：四季の御料理 まつお 羽咋市川原町テ71-4 TEL 0767-22-5252

[2日目] 平成31年2月16日(土)

8:50	集合（石川県・公立羽咋病院 2階 講義室）
8:50 ～ 10:20	○活動報告2 「石川県能登地区の地域包括ケア病棟・床を有する国保直診施設における地域包括医療・ケアの構築と地域包括ケア病棟（床）のリハビリ専門職の取り組み」（各20分） ～高齢化率40%以上の地域～ 講師：矢内 真実（言語聴覚士／珠洲市総合病院） ：坂下 宗祥（作業療法士／市立輪島病院） ：平 智子（理学療法士／公立宇出津総合病院） ：白田 紀子（理学療法士／町立富来病院） *質疑応答 10分 進行：北谷正浩（国診協地域ケア委員会・リハビリテーション部会副部長／公立羽咋病院リハビリテーション科士長）
	休憩

10:30 ～ 11:50	<p>○グループワーク</p> <p>◆協議／意見交換：60分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設のリハビリ部門の現状（取組み内容・課題等）と地域包括ケア病棟及び地域リハビリテーションを推進するためにリハビリ専門職に求められているものは何か？ <p>GW テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高齢化率の高い地域における国保診療施設等のリハビリ専門職の活動と課題共有の現状 ②地域包括医療・ケア構築におけるリハビリ専門職の関わり（例：地域ケア会議・リハビリ栄養 等） ③地域包括ケア病棟（床）のリハビリ専門職活動と病床有効稼働 等 <p>◆発表：20分</p> <p>講評：国診協 担当副会長</p> <p>進行：村上重紀（国診協地域ケア委員会・リハビリテーション部会部会長／広島県・公立みつぎ総合病院参与）</p>
11:50 ～ 12:00	<p>閉講式</p> <p>挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会 担当副会長</p> <p>※参加者アンケート ※集合写真撮影</p>

(7) 多職種研修コーディネーター研修会

本研修会は、平成28年度より厚生労働省老人保健健康増進等事業等により「小規模自治体における多職種研修プログラム・運営ガイド」を作成し、「医療介護関係者の研修」を企画運営できる人材の育成として、「多職種研修コーディネーター研修会」（平成29年度の研修修了者数341名）を開催してきた経緯がある。

平成30年度より、「在宅医療・介護連携推進事業」が全市区町村で開始され、その取組みの一つとされる「医療介護関係者の研修」は、国保直診の多くが所在する中山間地域（特に医療・介護資源の不足地域）において課題を抱えている地域が多いことから、効率的かつ効果的实施に向け、簡易的な地域診断を用いながら効果的かつ負担感の少ない多職種研修の企画・運営できるコーディネーターを養成することを目的に実施した。

研修内容は、①まずは体験！多職種研修…実際に自治体等で行われる多職種研修の内容や雰囲気、進め方を知っていただくため、研修の一部を模擬的に体験（緊張を緩和するためのアイスブレイク、他の職種の考えを感じるための演習等）。②ベテランに学ぶ研修の「コツ」と「ポイント」…第1部で体験した研修内容をもとに、研修の企画・当日運営等の経験豊富な講師から、研修を効果的に、また楽しく進めるためのコツとポイントの話。③「自分たちの地域でどうするか」を考える！…第1部、第2部の内容をもとに、各自治体における開催方法等について、行政の担当者等で検討し、課題となりそうなところ、不安なところなどについて、講師から実態に即したアドバイスを行った。

[実施内容]

①大阪会場

日時：平成31年1月10日（木）

会場：CIVI 新大阪研修センター

参加自治体数・人数：21 団体・35 人

②福岡会場

日時：平成31年2月27日（水）

会場：リファレンス 駅東ビル貸会議室

参加自治体数・人数：26 団体・37 人

③東京会場

日時：平成31年3月16日（土）

会場：大手町サンスカイルーム

参加自治体数・人数：28 団体・44 人

5 地域包括医療・ケア認定制度の認定（全自病協との共同事業）

平成30年度 認定施設 3 施設（累計 217 施設）

認定医師 6 人（累計 443 人：医師 427 人、歯科医師 16 名）

認定専門職 6 人（累計 344 人）

6 医師臨床研修指導医講習会（全自病協との共同事業）

① 開催期日 平成30年7月～平成31年2月（6回開催）

② 参加人員 計 261 名（累計 6,459 名）

7 調査研究事業等

■ 厚生労働省老人保健健康増進等事業の実施結果(概要)

(1) 「地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための都道府県及び地方厚生（支）局の支援に関する調査研究事業」

本事業では、近畿厚生局および東海北陸厚生局管轄区域内の自治体における在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況を把握し、好事例および取組において課題のある事例からのノウハウ収集、および今後の継続性などに関して課題のある自治体の具体的課題の内容を集積する。また、都道府県あるいは地方厚生（支）局がどのような支援が可能か役割を明らかにすることを目的に実施した。

※事業実施地域の枠組みとして、近畿厚生局及び東海北陸厚生局所管エリアにて実施。

①実態調査（アンケート調査）

1) 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携に関する実態調査（1段階目）

・府県（対象・悉皆：13ヶ所）※回答率100%

・市町村（対象・悉皆：409ヶ所）※回答率91%

2) 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携に関する実態調査 (2段階目)

・市町村 (対象・抽出: 60ヶ所) ※回答率 60%

②現地訪問調査 (ヒアリング調査)

1) 積極的取組地域 (対象・抽出: 4ヶ所)

1. 京都府綾部市、2. 奈良県宇陀市、3. 岐阜県美濃加茂市、4. 静岡県川根本町

2) 取組み課題の多い地域 (対象・抽出: 2ヶ所)

1. 奈良県五條市、2. 石川県野々市市

③評価指標の検討

在宅医療・介護連携の取組を適切な指標・方法により評価することで、適切な進捗状況の振り返りや改善策の検討および PDCA サイクルの適切な運用を支援することを目的に、評価指標 (評価方法) の検討を行った。

④在宅医療・介護連携推進フォーラムの開催

開催日: 平成 31 年 2 月 25 日

開催地: 大阪府大阪市「CIVI 北梅田研修センター・Hall」

参加者数: 124 名 (委員会関係者含む)

(2) 「離島等における介護サービスの提供状況の実態把握及び推進方策に関する調査研究」

本事業は、離島等において、地域の背景因子も考慮しながら介護サービス提供状況を把握するとともに、国保直診などその地域のカギとなる機関・部署等の役割も含め、限られた資源のもとでも地域の方々が住み慣れた地域で生活を継続できるような方策、推進に寄与する好事例を評価検討し、今後の離島等の地域での取組み課題とサービス確保対策等の方向性を明らかにすることを目的に実施した。

※事業実施地域の枠組みとして、離島及び離島を有する自治体並びに振興山村の医療・介護資源が不足している地域を対象。

①実態調査 (アンケート調査)

1) 離島等における介護サービス提供の実態調査

・離島及び離島を有する市町村 (対象・悉皆: 139ヶ所) ※回答率 69.78%

・振興山村 (山村振興法で全域指定の地域) に該当する市町村 (対象・悉皆: 200ヶ所)

※回答率 45.50%

・離島に所在する国保直診 (対象・悉皆: 95ヶ所) 回答率 68.42%

・調査対象地域の介護事業所 (対象・抽出: 65ヶ所) 回答率 81.54%

②地域現地訪問調査 (ヒアリング調査)

1) 積極的取組地域 (対象・抽出: 6ヶ所)

1. 北海道幌加内町、2. 長野県栄村、3. 島根県西ノ島町、4. 高知県梶原町、5. 熊本県上天草市 (湯島)、6. 大分県姫島村

■独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業の実施結果(概要)

「介護離職防止のため遠距離介護を支える事業」

本事業は、介護離職防止や過疎地域の崩壊防止のために遠距離介護の不安や負担の軽減を目的に、多職種による遠距離介護支援セミナーを親の居住地において開催した。

①事前調査（アンケート調査）

委員の所在地域で、「離れて暮らす親に関する聞き取り」（41件）、「介護のために離職した方への聞き取り」（4件）を実施

②実務者研修会の開催

連携団体の担当者を招聘し、モデル事業実施に向けての研修を実施

開催日：平成30年9月6日

開催地：東京都港区「国診協事務局・会議室」

参加者数：23名（委員会関係者含む）

③連携団体でもモデル事業実施

各連携団体では「遠距離介護支援セミナー」の開催に向けて複数回の検討を重ね、実施際にセミナーの企画・運営を行った。

1.北海道本別町（参加者：14名）、2.秋田県横手市（参加者：8名）、3.静岡県浜松市（参加者：59名）、4.岐阜県郡上市（参加者：25名）、5.滋賀県高島市（参加者：19名）、6.島根県飯南町（参加者：23名）、7.香川県観音寺市（参加者：14名）、8.大分県国東市（参加者：9名）

④教材等作成

本事業の検討会・部会にて、モデル事業実施のための教材（研修スライド、ファシリテーターの手引き、研修ポスター案等）を作成した。

■公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団・在宅医療研究への助成の実施経過(概要)

「在宅療養者の災害時避難行動支援計画を多職種と地域が協働して作成する体制の構築」

本研究は、在宅療養者等が、災害発生後も医療・介護を継続的に受けられる基盤整備のあり方について研究し、その効果検証として体制構築に向けた取組みを実践する。

○保健・医療・介護・福祉に関わる多職種に地域自治組織や行政が加わった、防災をキーワードとした連携体制を構築する。

○在宅療養者の災害時避難行動支援計画を多職種と地域自治組織が協働して作成する。

○個人情報保護に留意した協働者間の情報伝達と情報共有のあり方について検討する。

実施期間：平成30年9月～令和元年8月

事業実施地域：①宮城県・気仙沼市本吉病院、②静岡県・浜松市国保佐久間病院、③徳島県・美波町国保美波病院（3ヶ所）

8 表彰

(1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰

① 表彰式 平成30年10月5日(金)（第58回全国国保地域医療学会）

- ② 会 場 徳島 アスティとくしま
- ③ 受賞者 表彰者 42名
- (2) 全国国保地域医療学会優秀研究表彰
 - ① 表彰式 平成30年10月5日(金) (第58回全国国保地域医療学会)
 - ② 会 場 徳島 アスティとくしま
 - ③ 受賞者 最優秀1名 優秀5名

9 国診協都道府県協議会等に対する支援

- (1) 都道府県協議会振興費の交付
- (2) 都道府県協議会等開催の国保地域医療学会等に対する助成
- (3) ブロック協議会会議開催に対する助成

10 広報・情報提供の推進

- (1) 「地域医療」誌発行 第56巻第1号～第56巻第4号
- (2) 「地域医療」特別号(第57回全国国保地域医療学会特集)発行

11 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営支援

12 国診協 会長・副会長等の関係省庁・団体等における活動

職 名	役員名
厚生労働省 今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会委員 厚生労働省 独立行政法人地域医療機能推進機構評価委員 地域医療を守る病院協議会 (5団体 29.9.28 設立) 日本専門医機構 地域医療対策協議会対応委員会委員 NPO法人卒後臨床研修評価機構	会長 押淵 徹
厚生労働省 医道審議会委員 医師分科会臨床研修部会臨時委員 地域医療を守る病院協議会 (5団体 29.9.28 設立) 日本専門医機構 総合診療医検討委員会	副会長 金丸 吉昌
独立行政法人福祉医療機構助成事業評価委員(担当副会長の変更) 地域医療を守る病院協議会 (5団体 29.9.28 設立) 日本専門医機構 総合診療医検討委員会WG 医療とニューメディアを考える会 世話人 日本在宅ケアアライアンス会議 (在宅医療助成 勇美記念財団)	副会長 小野 剛
公益社団法人全国自治体病院協議会理事・・・31年全自病協総会で選任予定	未定
日本専門医機構 総合診療医検討委員会WG	中村 伸一